

## 公表 総括表

○事業所名	保育所等訪問支援さんく		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日	～	2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年 3月 16日	～	2026年 3月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 1日	～	2026年 3月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 1日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性を持った心理士が訪問支援員を担っていること。	訪問先施設の職員とは異なる専門性を持っていることが多く、ひとりの児に対する多角的な視点からチームとしてアプローチをするようにしている。	他の通所支援事業所と密な連携を図ることで、より多角的な視点を持つてのではないかな。
2	小さい組織であるため、マニュアルに囚われず多様なニーズに対応できること。	学校や園の訪問のみならず、ニーズに応じて通所支援事業所などの様子を伺ったり、会議に参画したりしている。	今後も幅広くニーズを聴取していく。
3	担当者が変わらず支援できること。	事業所の看板ではなく、担当の専門性を重視している。	今後も切れ目のない支援を展開していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新規の事業者であり、地域に根差しているとは言えない。	相談支援事業所の紹介や口コミを中心として利用者が増えているが、施設側の認識が乏しいことは多い。	事業所発信の広報を行う。
2	新規相談者のニーズを拾い切れておらず、お断りするケースもあること。	高度な専門性を有した人材の乏しさ	人材獲得のためのアプローチも行っていく。
3	保護者間の交流が乏しいこと。	利用者同士が交流する機会がないため、保護者同士の交流も必然的に持ちづらい。	ニーズを調査したうえで、保護者会などを実施する。

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2026年 5月 1日

保育所等訪問支援さんく

利用児童数 33名(25施設) 回収数 16件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	20	5	0	教科書通りの答えではなく、児童や環境に合わせたアドバイスをいただき助かってます。	お褒めに預かり光栄です。実現可能で、継続できて、楽しいというのが良い支援だと考えております。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	20	5	0	学校からは踏み込みづらい服薬の件もお伝えいただきありがとうございます。	薬の知識自体は心理士の専門性外なのですが、心理的ハードルで受診に抵抗のある保護者への支援は今後とも行ってまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	(対象数)	0	0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	22	3	0	児童はもちろん、保護者への支援をしてくださることで、学校と保護者の関係も改善しました。	今後ともなかなか時間を取りづらい先生方と保護者の間に入り、橋渡しをしてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	24	1	0		
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・急な会議でも遠方から来てくださり、ありがとうございました。</li> <li>・いつも私の良いところを見つけてくれるので自信になります。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・フットワークの軽さは当事業所の強みと心得ておりますので、またいつでもご連絡ください。</li> <li>・大人も子どもと同じで、望ましい行動を継続することが重要と考えておりますので、今後も素敵な支援を見つけてまいります。</li> </ul>	

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 保育所等訪問支援さんく

公表日 2026年 5月 1日

利用児童数 33名 回収数 17件

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	6	0	0	11		教具教材を用いることは少なく、ご提案にとどまっている現状です。	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8	2	0	7		原則、ご自宅に伺っての面談を行っております。	
	3	25	16	0	0	1		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	16	0	1	0			
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	16	0	0	1			
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1	0	0			
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	2			
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	11	2	1	3			
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1	0	3			
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	2			
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	16	0	0	1			
	保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		
		13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	2	0	1		
		14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	6	2		
		15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0		
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		15	2	0	0			
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		17	0	0	0			
18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		14	1	0	2		お話をいつも聞いてもらえありがとうございます。しっかり見てもらえていると感じています。	
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		16	0	0	1			
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。		15	0	0	2			
21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。		15	0	0	2			
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	16	1	0	0	フィードバック面談が出来ない時に、LINEやメール等で実施内容を教えて欲しいです。	テキストにて提供記録を共有しておりますが、より詳しくに記述してまいります。		
非常時等の対応	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	2	2	6		今回が初めてのアンケートのため、今後は周知を強めてまいります。	
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0			
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6	1	0	10		緊急時の対応については、マニュアルの共有などを園や学校と行ってまいります。	
満足度	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	5		同上	
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	15	1	0	1			
	28 事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	1	素晴らしい支援を行なって頂き感謝しています。今後もお褒めに預かり光栄です。今後ともスタッフの精進の上、お子様、ご家庭、施設への支援を行ってまいります。		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
保育所等訪問支援さんく		2026年 5月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環 境 ・ 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	0	教具教材を利用することはほぼない。	必要であればサンプルを提示する。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0		今後増員を検討している。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	1		
	4	25	0	2	初年度のため。	初回評価をもとに、業務改善につなげる。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	0	2	小規模の事業所であり、都度の情報共有を行っている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0	当該年度は日本認知・行動療法学会への参加、発表を行った。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	0		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0	保護者や施設の意向が子どもの意向と反している場合、調整を実施している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0	行動問題についてはABAの観点からアセスメントを行っている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	2	訪問支援員が1名であり、振り返りは個人で行っている。	増員の際には、振り返りのシステムを構築する。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	0		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	児発管兼訪問支援員が参画している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	0		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0		

携	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0	個人単位では子育て支援を実施しているが、集団への実施はない。	ニーズに応じて講義や交流会を開催する。
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	2	保護者同士の交流は現在のところない。	ニーズに応じて講義や交流会を開催する。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0	SNSの活用はしていないが、デロボやLINEにて保護者とやりとりをしている。	
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0			
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0			
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0	難しい場合は電話にてフィードバックを行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0			
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	2	身体拘束に当てはまる事例がない。	当てはまるケースについては、計画書に記載の上運用する。